

かわさき 図書館だより



図書館ホームページ: <http://www.library.city.kawasaki.jp/>

かわさき車窓物語

第3回

市制90周年特集



3号に1回のペースで「川崎市内の乗り物・交通機関」をキーワードに様々な話題を取り上げてご紹介してきた「かわさき車窓物語」。今年度は市制90周年を記念して毎号で連載します！

汽笛一声～♪の新橋駅より古い川崎駅

川崎最古の鉄道駅はJR川崎駅です。明治5（1872）年9月12日に新橋～横浜間で開業した「京浜間鉄道（現JR東海道線の一部）」の5駅（新橋、品川、川崎、神奈川、横浜）の一つで、京浜間の中間に位置していたため、当初単線だった線路を上り下りする列車のすれ違い駅としての機能を持っていました。鉄道そのものは正式開業に約4ヶ月先立つ5月7日に品川～横浜間で仮開業しており、川崎駅は仮開業期間中の6月5日に開設されているため、新橋駅よりも古いということになります（月日は旧暦です。新暦では仮開業は6月12日、川崎駅開設は7月10日、正式開業は10月14日に当たります。10月14日は後の鉄道記念日、

現在の鉄道の日です）。

開業当時の各駅の位置を調べると、品川駅は現在よりかなり南の八ツ山陸橋付近にありました。付近の線路は高輪地区沿岸の海中を埋め立て築堤した上に敷設されたため、す



京浜間鉄道：六郷川蒸気車往返之全図

ぐ目の前は東京湾でその様子を描いた錦絵も残っています。神奈川駅は現在の横浜駅と青木橋陸橋（京急線神奈川駅付近）の中間辺りにあり、昭和3年に廃止されています。横浜駅は東海道線の国府津延長や院線電車（現JR京浜東北線）の開通などを経て桜木町と名を変え、みなとみらい21地区の開発に伴いやや北側に動いています（現在の横浜駅は三代目に当たります）。つまり、開設当初とほぼ同じ位置にある鉄道駅としては川崎駅が全国最古ということになります。

鉄道は開化期のシンボルのひとつとして多くの絵師が題材に取り上げており、その作品群は「鉄道錦絵」とも呼ばれています。市立図書館所蔵の浮世絵コレクションには8点が含まれ、図書館ホームページのWebギャラリーにて御覧頂けます。



京浜間鉄道：鉄道独案内
（時刻表と料金表も載っています）

図書館で楽しむ2014ワールドカップ・ブラジル大会

6月12日からブラジルで開催されるサッカーワールドカップ。正式にはFIFAワールドカップといい、国際サッカー連盟（FIFA）が主催する各国代表チームによる世界選手権です。予選を勝ち抜いた日本代表も活躍が期待されています。

（われらが川崎フロンターレからも大久保嘉人選手が出場します。川崎代表を応援しよう！）

1ヶ月にわたる大会ですが、川崎市立図書館では特集コーナーを用意しますので、図書館でもワールドカップを楽しんでくださいね。

日本代表一次予選日程【日本時間】

対コートジボワール	6月15日(日)	10:00
対ギリシャ	6月20日(金)	7:00
対コロンビア	6月25日(水)	5:00
.....		
決勝	7月14日(月)	4:00



1 『“背ラベル”でさがす』

図書館の本の背ラベルに数字がありますが、これは図書館の本の配置を示しています。[“請求記号”といいます]

- ワールドカップ、日本代表、選手や監督の本、サッカーのルール、サッカーについてさがすには“783”の本棚をみてください。
- 出場国について：290～で始まる地理のコーナーです。
※出場国や過去のワールドカップについて調べるには、百科事典や年鑑類も使うことができます。



2 『キーワードでさがす』

図書館のホームページの蔵書検索や館内検索機で調べる時に、検索に必要なキーワードを考えましょう。

例：ワールドカップ、フットボール、サッカー、FIFA、日本サッカー協会、Jリーグ、チーム名、監督名、選手名、出場国名ほか

※キーワードを増やすには、先の百科事典や年鑑などを調べることから始めると、よりさがしやすいです。



3 『インターネットでさがす』

図書館だけではなく、インターネットにもたくさんの情報があります。

ごく一部を紹介します。テレビ局のサッカー番組サイトや新聞社・専門雑誌のサイトなども参考になります。

- *日本サッカー協会 <http://www.jfa.jp/> *欧州サッカー連盟 <http://jp.uefa.com/index.html>
- *Jリーグ <http://www.j-league.or.jp/> *川崎市サッカー協会 <http://homepage3.nifty.com/kawasaki-fa/>



4 『その他』

サッカーに関する展示機関や展覧会の情報の一部です。ワールドカップ期間中は様々なイベントが開催されますので、インターネットや新聞などでさがしてみてください。

- *日本サッカーミュージアム 東京・文京区本郷3-10-15 電話：03-3830-2002
- *「ボールはともだち。キャプテン翼」展 会期：6月14日(土)～7月6日(日)
東京・上野の森美術館 台東区上野公園1-2 電話：03-3833-4191

こんな本はいかがでしょう

(川崎市立図書館で所蔵しています。)
☆印：小学生程度から読める本です

開催国
ブラジル

- 『ジャポネス・ガランチード ー日系ブラジル人、王国での闘いー』
下園昌記／著 ガイドワークス 2013年刊 (分類783.4)
- 『ブラジルへ ー日本人移民物語ー』
藤崎康夫／著 草の根出版会 1999年刊 (分類334)
- 『ブラジルからの熱い風 ーサッカー王国雑学ノートー』
日下野良武／著 ベースボール・マガジン社 1997年刊 (分類783.4)
- 『ブラジルのごはん (絵本世界の食事7)』☆
銀城康子／文 萩原亜紀子／絵 農山漁村文化協会 2008年刊 (分類383)

対戦国① コートジボワール

- 『アフリカの「小さな国」－コートジボワールで暮らした12カ月－』
大林公子／著 集英社 2002年刊（分類294.4）
- 『ストリートの歌－現代アフリカの若者文化－』
鈴木裕之／著 世界思想社 2000年刊（分類361.5）
- 『地球生活記－世界ぐるりと家めぐり－』☆
小松義夫／著 福音館書店 1999年刊（分類383）

- 『ジス・イズ・ギリシャ』☆
ミロスラフ・サセック／著 松浦弥太郎／訳 ブルース・インターアクションズ
2007年刊（分類 絵本）
- 『世界の発掘現場と冒険家たち－考古学ふしぎ図鑑－』☆
ステファヌ・コンボワン／文・写真 青柳正規／日本語版監修 野中夏実／訳
西村書店 2013年刊（分類202）
- 『半分人間－ギリシアの昔ばなし－』☆
おざわとしお／編訳 井上洋介／絵 小峰書店 1983年刊（分類388）

対戦国② ギリシャ

対戦国③ コロンビア



- 『子ども兵士－銃をもたされる子どもたち－（世界の子どもたちは今1）』☆
アムネスティ・インターナショナル日本／編著 リブリオ出版 2008年刊
（分類367）
- 『コロンビア（ナショナルジオグラフィック世界の国
NATIONAL GEOGRAPHIC）』☆
アニタ・クロイ／著 ウルリッヒ・オスレンダー／監修
マウリシオ・パルド／監修 ほるぷ出版 2009年刊（分類290）
- 『ろばのとしょかん－コロンビアでほんとうにあったおはなし－』☆
ジャネット・ウィンター／文と絵 福本友美子／訳 集英社 2011年刊
（分類 絵本）

川崎フロンターレと本を読もう！

川崎市立図書館では、2009年からサッカーJ1チームの川崎フロンターレと協働して、サッカーと読書を盛り上げる取組みをしています。



過去の「マッチデープログラム」が見られます！

川崎フロンターレのホームゲームの際に販売される情報誌「マッチデープログラム」を、2003年の創刊準備号から2013年シーズン分まで、中原図書館で見ることができます（貸出はできません）。

これを見れば、川崎フロンターレとJリーグの歴史通になれるかも？！

川崎フロンターレのマスコット「ふろん太」たちが主人公の紙芝居・絵本

紙芝居「フロンタちゃんとワルンタくん 対決！闘将カーン」、絵本「どくしよすき？」でふろん太たちが大活躍！ぜひ図書館で借りてみよう！

「フロンターレ文庫」

川崎フロンターレから寄贈を受けた本や、選手のおすすめ本などを並べた「フロンターレ文庫」を各図書館（分館・閲覧所を除く）に設置しています。



選手のおすすめ本を紹介する小冊子の配布や帯コメント大賞、選手・コーチが参加する人形劇など、「川崎フロンターレと本を読もう！」事業を今年度も行います！！詳細は7月に発表します。

フロンターレ選手が選ぶ「わたしの1冊」

わが街・川崎のJ1サッカークラブ「川崎フロンターレ」と図書館との合同企画です。
第15回は、井川祐輔選手が選ぶ1冊を紹介します。



『生存者ゼロ』 安生正／著 【宝島社】 2013年刊

《内容紹介》

北海道根室半島沖に浮かぶ石油掘削基地との連絡が途絶え、基地内からは血まみれになった全職員の死体が一。ウイルスや細菌による感染症が疑われたが、連絡をする間もないほど急激に職員を襲ったものは何なのか。数ヶ月を経て北海道内で第2、第3のパンデミックが発生し町が壊滅してゆく。2013年に「このミステリーがすごい！」大賞を受賞した話題作です。

KAWASAKI
Frontale



井川祐輔選手より

読む前ぐらいに感染症の被害が、話題になっていたので手に取りました。冒頭のストーリーが不気味な設定なので、その起こった原因を色々と想像させてくれるところが好きでした。そして、この本は何と言ってもエンディングが秀逸です！予想していなかった結末にガクッときますが、それもオモシロかったです。



【DF4 井川祐輔選手】

守備だけではなく、最終ラインからボールを配球して攻撃の起点にもなれるセンターバック。読みを生かしたインターセプト、スライディングでのカットといったアグレッシブなプレースタイルは残しつつ、年齢を重ねるごとにプレーの安定感も生まれてきた。

第23回

We Love!
KAWASAKI

このコーナーでは、川崎をもっとよく知り、もっと楽しむための本を紹介しています。
今回は、市制90周年に合わせて川崎市誕生の頃にスポットをあてて紹介します。

A：『かわさきのあゆみ 写真でみる明治・大正・昭和』

川崎市市民局広報課／編集 川崎市市民局 1986

市民の方から寄せられた写真をもとに編集された写真集です。市民生活、風景、風俗の移り変わりが、一目でわかるようになっています。さらに、巻末には「かわさき今昔」と題して、古い写真とともに同じ場所を同じアングルで撮影した現在（出版当時）の写真も並べて紹介されています。



A

B：『市制記念川崎誌 全』

川崎誌刊行会／編集 川崎誌刊行会 1924

大正13年7月に川崎町、御幸村、大師町が合併し、川崎市が誕生しました。この本は、これを記念して翌年14年に発行されたものです。川崎の名所・寺社仏閣の紹介にはじまり、「川崎市の商工業」の項では、株式会社鈴木商店川崎工場（味の素）の鳥瞰図の掲載や、銀行、鉄鋼、製氷、食品会社など様々な会社の紹介もあり、当時の川崎の勢いを感じることができます。

C：『大川崎ものがたり』

毎日新聞の連載記事

昭和31年5月5日から昭和31年7月28日まで毎日新聞で連載された「大川崎ものがたり」全51回の連載記事です。川崎郷土研究会の方々を中心に企業の労働組合の方や学校の先生などから寄稿されています。川崎の発展の様子や事件、三日三晩にわたり行なわれた酒合戦の話、市内から発掘された象の祖先ステゴドンの話など、多彩なエピソードが満載です。

訃報

長年にわたり図書館だよりに掲載いただいていた法政大学名誉教授の村上直先生におかれましては、平成26年2月にご逝去されました。

謹んで哀悼の意を表するとともに、これまで賜りました図書館活動へのお力添えに心から感謝申し上げます。

（「川崎市の歩みと未来の展望」につきましては、第6回（図書館だより33号）をもって終了いたします。）

編集・発行 川崎市立中原図書館 〒211-0063 川崎市中原区小杉町3-1301 TEL044-722-4932

川崎市立図書館：

川崎図書館(200-7011) 高津図書館(822-2413) 麻生図書館(951-1305) 大師分館(266-3550) 橘分館(788-1531)
幸図書館(541-3915) 宮前図書館(888-3918) 田島分館(333-9120) 柿生分館(986-6470)
中原図書館(722-4932) 多摩図書館(935-3400) 日吉分館(587-1491) 菅覧所(946-3271)